

いじめ・不登校・虐待への新たな対応

～スクールソーシャルワークの視点から～

スクール
ソーシャルワークを
ご存知ですか？

文部科学省は2007年度よりスクールソーシャルワークを導入しました。県によっては既に活動を実施しています。これらの活動は、いじめ・不登校・虐待等への対応策として有効であるとされています。

市民企画提案事業 NPO法人 Kitalpha 住所：倉敷市新倉敷駅前三丁目73-1 2階 電話・FAX：086-525-2152

市民企画提案事業は、市民のみなさまと倉敷市が一体となって公益的な事業を、提案（計画）・審査・実施・検証し、「協働」によるまちづくりをすすめ、「ひと、輝くまち、倉敷。」の実現を図るためのものです。今回の企画は倉敷教育センターとの協賛により実施するものです。

受講料：1,000円 ※お申し込みは倉敷教育センターまでお願いします。

■各講習会ではグループワークもあります。

第1回講習会

スクールソーシャルワークとは何か ～なぜ必要とされるのか～

日時：2008年8月6日（水）

時間：13：00～16：00（開場12：30）

場所：ライフパーク倉敷 第1会議室

講師：長崎 和則（ながさき・かずのり）



〈プロフィール〉

龍谷大学大学院文学研究科修士課程社会福祉学専攻卒業。福祉関連の職に就き、専門学校・大学（全2校）にて講師を務める。

現在は、川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科 助教授として活動。地域での活動に参加しながら、ソーシャルワークのあり方についても研究

を行っている。自称、「フィールド・ソーシャルワーカー」。「スクールソーシャルワーク論－歴史・理論・実践－」（学苑社）など、多数の著書を協力執筆。

第2回講習会

スクールソーシャルワーク 支援の実際

日時：2008年12月6日（土）

時間：未定 13：00～16：00

場所：ライフパーク倉敷（未定）

講師：中 典子（なか・のりこ）



〈プロフィール〉

佛教大学大学院社会学研究科 博士課程社会学・社会福祉学専攻 卒業。知的障害更生相談所ケースワーカー、専門学校・短期大学・大学（全8校）にて講師を務める。

現在は、中国学園大学 子ども学部 子ども学科 講師、スクールカウンセラー（岡山県教育庁指導課）、心の専門家（岡山県教育委員会）、教育支援訪問指導員（岡山県教育委員会）として活動。「アメリカにおける学校ソーシャルワークの成立過程」（みらい）を刊行。

お申し込み・お問い合わせ

倉敷教育センター 住所：倉敷市福田町古新田 940

電話：086-454-0400 FAX：086-454-0403